

## 泥んこ田植え 園児「楽しい」

福井で34人体験

福井市の社中央第一こども



小さな手で丁寧にもを植える  
園児ら 2日、福井市種池町

園と同第二こども園の園児34人が2日、同市種池町の田んぼで田植えを体験した。園児は「楽しい」「泥は温かくて気持ちいい」などと大はしゃぎしながら、ハナエチゼンの苗を植えた。

食育の一環として主食の米がどう栽培、収穫されるか知ってもらおうと、両園が農家から約50平方メートルの田んぼを借り、年間を通じて稲作体験を行っている。

園児ははだして田んぼに入り、JA福井市社支店青壮年部員らからアドバイスを受けながら、小さな手で少しずつ苗を植えていった。田植え後は泥んこになって走り回ったり、カエルを探したりするなどして楽しんだ。

8月にはスズメよけのかかしを立てるほか、稲刈り、はさ掛け、脱穀を体験する。収穫後はおにぎりにして味わう。

(嶋本祥之)